

農福連携における拠点独自のマッチングへの取り組み

農福連携の認知度の向上と取り組む機会の拡大に向け、事例集の作成やマッチングを行うなど、農福連携の横展開を行う。

〇 施策分類

農福連携

〇 きっかけ・背景、課題の把握

農福連携等推進ビジョンに掲げられた課題解決のため、令和4年度より取り組む事業者等の情報をリスト化し、意見交換を実施してきた。

令和5年度には、意見交換で得られた内容を取組事例として取りまとめ、拠点HP及びとちぎセルプセンター等HPへのリンクを掲載し横展開を図ってきた。

意見交換する中で、連携における双方の課題（農業者は、希望する作業内容・作業時間について。福祉事業者は、工賃、対応人員数、作業時間、移動距離等についての要望があるため、事前の調整が重要となっている。）が見えてきた。

〇 取組の内容

- ・「見える化」に取り組む農業者は、パートの雇用を検討していた。
- ・福祉事業者は、農閑期（農作業の請負がない時期）の農作業を探していた。
- ・双方の希望時期が一致していたことから、それぞれに声をかけをし、マッチング支援をすることとした。

〇 効果・成果、今後の方向性

マッチングの場にも同席し、両者は連携することとなった。今後具体的な作業内容の打ち合わせを行うこととしていることから、継続して状況を注視していく。

今後も、農業者、福祉事業者等から情報収集を行いながら、マッチング支援を進めていく。



作成した取組事例集

マッチングの様子

体制図

